

平成30年度 王寺町の決算

一般会計は、歳入（収入）が96億6,735万9千円、歳出（支出）が92億6,817万円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、2億8,915万9千円となりました。

平成30年度も引き続き、経費の節減や自主財源の確保に積極的に取り組んだ結果、一般会計において黒字決算となりました。また、将来の資金需要等に備える町の基金は、平成30年度決算時において昨年度と比べ、4億3,944万9千円増の76億2,948万3千円となりました。

問出納室（内線153）

▶特別会計

	国民健康保険	後期高齢者医療	下水道事業	介護保険 (介護保険事業)	介護保険 (介護サービス事業)
歳入	24億6,605万6千円	3億4,468万円	10億1,865万円	18億8,901万9千円	510万3千円
歳出	24億2,739万1千円	3億4,412万1千円	10億999万円	18億4,787万1千円	469万2千円

▶水道事業会計 [王寺町の水道事業は、皆さんにお支払いいただく水道料金によって運営する「独立採算制」を採っています]

	収益的収支…①	資本的収支…②
収入	6億1,817万8千円	3,976万5千円
支出	5億6,828万4千円	1億2,340万4千円

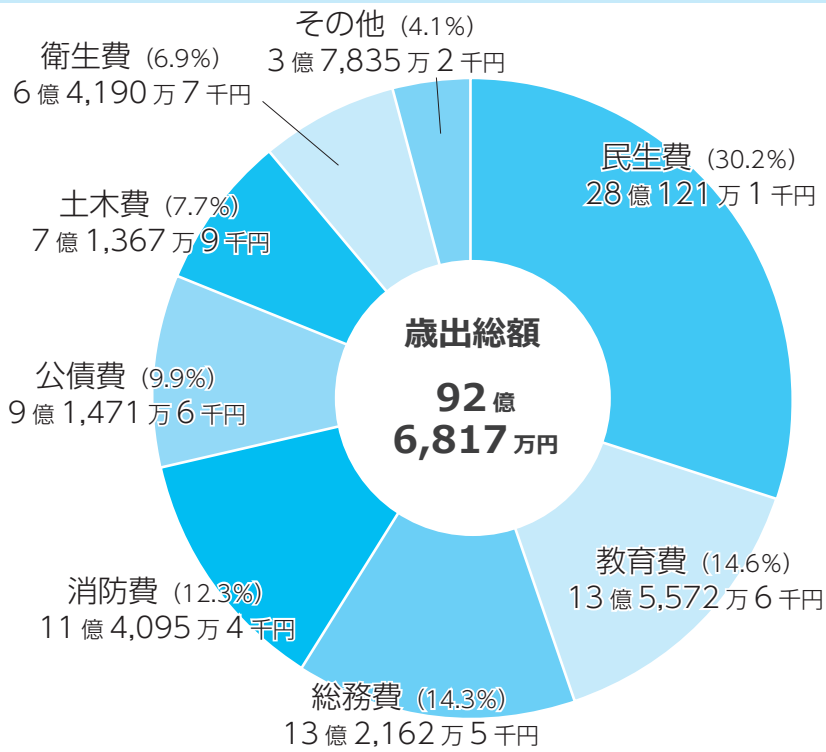
水道の平成30年度業務状況
(給水戸数、給水人口は平成31年3月31日現在)

- ▶給水戸数 10,416戸
- ▶給水人口 24,149人
- ▶有収水量※ 2,356,499㎡
- ▶1日平均有収水量 6,456㎡

※有収水量は、料金の対象となった水量のことで、町民1人1日あたり平均0.27㎡を使用したこととなります。

①水道事業等の経営活動により発生する収入（水道料金等）と、支出（県水受水費等）②施設の建設、改良などに関する収入と支出

一般会計の歳出



民生費の主な内容

▶心身障害者福祉費 5億226万5千円

障害のある人たちの日常生活や社会生活への自立支援事業として、主に、介護給付や訓練への給付などにかかる費用

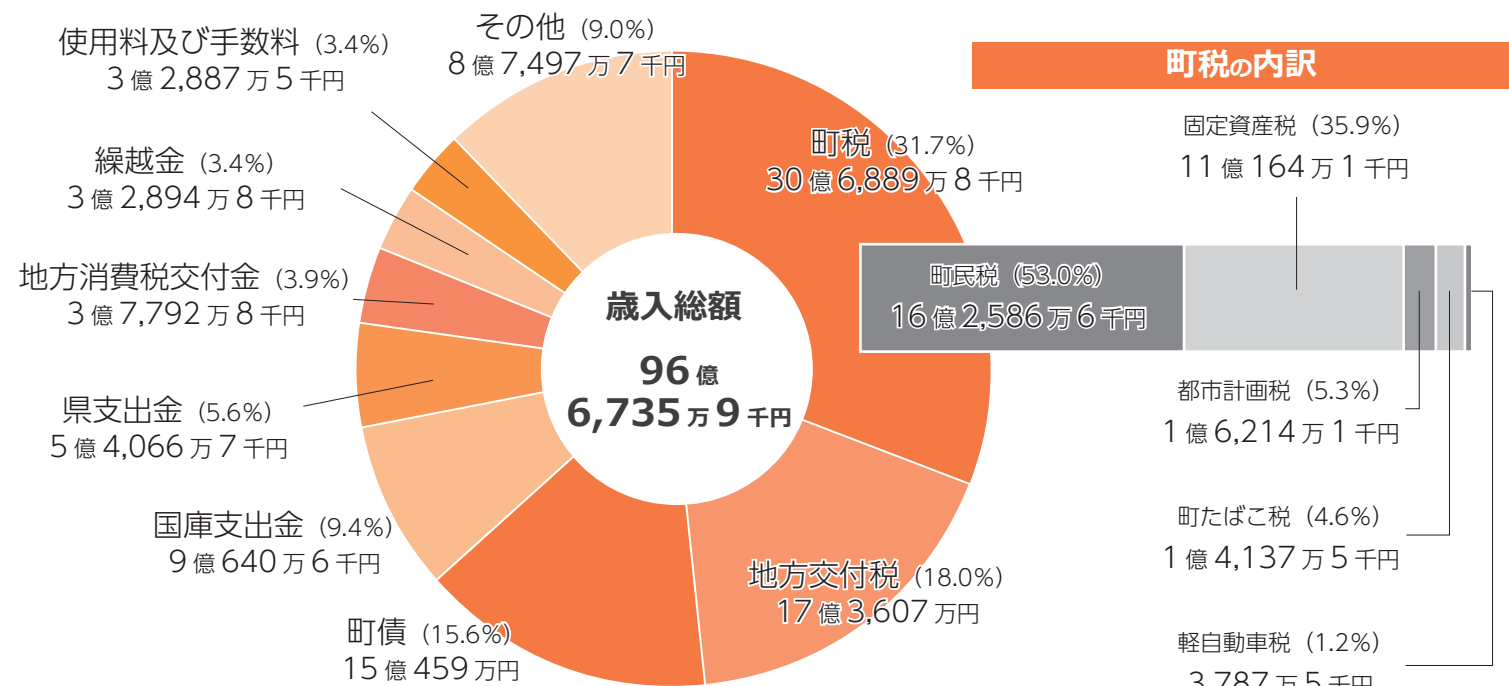
▶老人福祉費 2億8,987万1千円

介護保険事業への繰出金のほか高齢者の人たちの在宅福祉事業として、主に高齢者優待運賃補助、高齢者優待入浴補助や敬老会開催などの費用

▶児童振興費 10億6,117万9千円

子育て支援対策として、主に、保育所への助成や運営費扶助、児童手当の支給などにかかる費用

一般会計の歳入



平成30年度の主な事業の成果

「いずみスクエア」オープン

避難所機能を併せ持った町の防災拠点として、また生涯学習の拠点として整備を進めてきた防災コミュニティセンター「いずみスクエア」が完成し、平成31年1月にオープンしました。

防災対策事業

災害応急対策として、断水時の迅速な給水活動の実施や県内外の給水活動への派遣に対応できるように給水車の整備を図りました。また、給水車からの飲料水を避難所に一時保管できる組立式給水タンクを併せて整備しました。

ブロック塀等の撤去工事補助金事業

地震等の自然災害や老朽化に伴うブロック塀等の倒壊による被害の軽減を図り、安全に道路を利用できるように、危険性のあるブロック塀等の撤去にかかる費用の一部を助成する制度を創設しました。

バス停留所ベンチの設置

休憩スペースを確保し利便性の向上を図るため、バス停留所9か所に新たにベンチを設置しました。

王寺1丁目防災公園整備事業

平時は地域住民の憩いの場、交流の場として、災害時には拠点避難地となる公園を王寺1丁目地内に整備しました。

「健康」への取り組み

ウォーキングなどで利用する水辺空間に、健

康増進や体力づくりができるよう、久度神社付近、せせらぎ公園に健康遊具を設置しました。また、大和川ふれあい広場の多聞橋から出合橋間の約460メートルに、ゴムチップ舗装を施したジョギングコースを整備することにより、大和川と葛下川を結ぶコースが完成しました。

子育て広場「わくわく広場」の開設

子どもと保護者の情報交換や仲間づくりの場として、保健センターで開催している「すくすく広場」、文化福祉センターで開催している「子育てママのおしゃべりcafeどんぐり」と合わせて、町内3か所目となる子育て広場「わくわく広場」をいずみスクエア内に開設しました。

学童保育施設の整備

学童保育を利用する児童の増加に対応するため、王寺南小学校の敷地内に学童保育室を新設しました。また、町が学童保育事業を委託している片岡の里保育園内の学童保育所についても、施設増築の経費に対して助成を行い、保護者が安心して働くことのできる環境の整備を図りました。

観光振興の推進

町の重点観光スポット「明神山」の山頂からの360度パノラマ景色を堪能しながら、食事や休憩ができる場所を確保するため、東屋を2基整備、老朽化していたトイレの改修を行いました。また、奈良県ウォーキング協会、斑鳩町、三郷町、安堵町と連携し、聖徳太子ゆかりの地を2日間で巡るウォーキングイベントを開催し、多くの人が参加しました。